

令和3年度第3回我孫子市平和事業推進市民会議 会議概要

1. 開催日時

令和3年10月10日（日）午前10時00分から
12時00分

2. 開催場所

我孫子市役所分館 大会議室

3. 出席者

（委員）

北嶋会長、原副会長、桑原委員、見城委員、高須委員、根本委員、肥後委員、
的山委員、糸山委員、山田恒久委員、山田典子委員

（事務局）

企画課：高見澤課長、寺田主幹、大山主査長、稲垣主任、岡村主任

4. 傍聴人

なし

5. 議題

- 1 開会
- 2 事業報告
- 3 平和の集いについて
- 4 その他
- 5 閉会

6. 議事

1 開会

2 事業報告

- （1）中学生広島派遣事業
- （2）平和祈念式典
- （3）手賀沼とうろう流し

(4) リレー講座

【事務局】

(1) ～ (4) について事務局から説明した。

【委員からの意見等】

(1) 中学生広島派遣事業について

- ・今年派遣された中学生は、これまでにないほど沢山の人数がリレー講座に参加している。現地での活動に制限があったからこそ、良い刺激になってやる気につながっているのではないかと思う。
 - ・派遣中学生のアンケートを見ると、派遣に行く前から自覚を持って、歴史に対して向き合っている姿勢が読み取れる。この派遣の経験がとても力になると思う。
 - ・今回のようなイレギュラーな行程であっても、リレー講座で出会う中学生たちはすごく自分の考えを持っていて、派遣前から広島について知ろうとしていた。また、リレー講座を受けたことが派遣のきっかけになっているというのを聞いて、良いリレーができていると感じた。
 - ・今回広島派遣に参加した人たちも、長崎への興味も持っていってもらえると嬉しい。
 - ・反省会が長いという感想があるが、事務局としてはどうか。メインとなる日中の活動にあわせて体調を整えられるよう、効率的に実施していただければと思う。
- (事務局) 現状で反省会が長すぎるということはないが、中学生にとっては遅い時間の活動となるので、より効率良く意味のある反省会にしていければと思う。
- ・反省会を早く始めようとするれば見学等の時間が短くなってしまい、あまり早く解散しても中学生同士騒いでしまうことも想定されるので、開始時間は現状どおりで良いのではないか。
 - ・中学生には派遣に行く前にこのような行程だと頭に入れて、望んでもらえればと思う。
 - ・自分の派遣の時は、日中の活動の中で自分の意見を話す時間もあつたが、今回は反省会でしかそのような時間がとれないため、負担が大きいように感じたのではないか。

(2) 平和祈念式典、(3) 手賀沼とうろう流しについて

- ・式典が例年と違う形式での実施となり、とうろう流しも中止となってしまったが、広島派遣団の団長の話に心を打たれたし、小規模ながらもこれまでどおり市民の皆さんに平和事業について伝えることができたと思う。今後も形式は違ったとしても、平和祈念式典を続けていければと感じた。
- ・派遣事業も含め、思うようにできない状況の中でここまで実施できているのが素晴らしい。派遣中学生の感想を見ても、インターネットや文献で調べるより、現地で直接見ることを意味があると感じる。派遣に行きたくても行けなかった人もきっといるはずなので、より広く伝えていくことが必要だと思う。

(4) リレー講座について

- ・社会状況が良くなって、委員も参加できるようであれば事務局から声かけをお願いする。

3 平和の集いについて

(1) 実施概要

(2) 広報・チラシについて

(3) 「平和の集い」展

【事務局】

- (1) ～ (3) について事務局から説明した。

【委員からの意見等】

(1) 実施概要について

- ・緊急事態宣言が再度発令された場合の開催判断はどうするか。もしもの場合はオンラインの生配信なども検討できるのか。

→ (事務局) 緊急事態宣言が出ても公共施設が閉館にならない限りは、感染対策を講じながら実施する方向で進める。

- ・単に動画を視聴できるようにするのであれば、例年ブログに掲載している。一方 YouTube 等での配信となれば、より高度な技術や機材などの予算措置も必要ではないか。
- (事務局) リアルタイムでの配信はお見込みのとおり費用が大きくなるが、実施後に動画をホームページ等に掲載するということであれば、比較的安価に実施が可能と考える。
- ・コロナ禍にかかわらず、多くの人に知ってもらうためには動画配信などの手法も検討すべきである。素晴らしいことをしているのに、我孫子の平和事業の認知度が低いのは残念である。
- ・5年ごとに記念事業を実施するため、戦後80年の時には配信もできるよう検討してもらいたい。

(3) 「平和の集い」展について

- ・展示物のうち、衝撃が大きいと思われる悲惨な内容を展示していることに対して、見た人から否定的な意見はあったのか。
- (事務局) ここ数年は無かったと承知している。そのような恐れのある内容の展示については、展示会場の入り口に注意書きを貼り、外からすぐに見える位置には展示を控えている。
- ・悲惨な内容のものだからと除外するのではなく、事実として展示することが必要だと考える。
- ・去年のけやきプラザギャラリー2と今年のアビスタに展示した、平和祈念の文集と顔写真の展示が大変良かったので継続してはどうか。
- ・好評だったようだが、全く同じ内容が続くのは良くないと感じる。
- (事務局) 同様の展示をずっと続けていくには、ご本人と連絡をとるのが容易ではないため事務局としては難しさも感じている。
- ・どの方がご存命かというのは社会福祉課で把握している。また、事務局だけで選定などの準備をするのは困難だと思うので、委員から提案できれば良いと思う。
- ・ギャラリー1の右端はホールの入口付近になるため、文章を読ませる内容の展示は適さないのではないか。
- ・今年ではできなくても来年以降あのような展示がまたできるよう、準備していけたらと思う。

- ・派遣中学生に事前説明会で話をするとき、76年前の出来事を身近に感じてもらえるよう意識している。今後同様の展示をするときには、展示のタイトルや表示をその点が伝わるよう工夫できれば良い。
 - ・ギャラリー2の「原爆の絵」とあわせて、『平和のバトン』という本の紹介をしたい。原爆の絵のことや、自身が広島派遣に行った際に体験講話をしてくれた方も紹介されている。
- （事務局）実施できるよう展示の仕方など調整させていただく。
- ・本を紹介するなら、一冊だけではなく複数紹介する必要はないか。
- （事務局）今回の「原爆の絵」に関連する本ということで、特に紹介したいと考える。
- ・とうろうの回りを装飾したい。
 - ・「原爆の絵」は説明書きも併せて展示するか。
- （事務局）展示する。展示する絵画を選定する必要があるので、後日メールで照会する。
- ・市民会議の活動を紹介する展示などをしてはどうか。
 - ・昨年同様、委員のメッセージを動画にして上映してはどうか。
- （事務局）実施する。肥後委員に動画の作成を依頼した。

4 その他

（1）第4回会議日程について

【事務局】

事前の調整の結果、令和3年11月6日（土）午後2時30分から開催することを説明した。

5 閉会

以上